

第三者評価結果入力シート（児童心理治療施設）

種別	児童心理治療施設
----	----------

①第三者評価機関名

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

S18123
18-06
13-06

③施設名等

名称：	児童心理療育施設 悠
施設長氏名：	吉田 万里
定員：	30名
所在地(都道府県)：	三重県
所在地(市町村以下)：	桑名市長島町横満蔵568-3
T E L：	0594-45-8085
U R L：	

【施設の概要】

開設年月日	2010/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 アパティア福祉会
職員数 常勤職員：	24名
職員数 非常勤職員：	4名
有資格職員の名称（ア）	医師
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称（イ）	看護師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（ウ）	保育士
上記有資格職員の人数：	5名
有資格職員の名称（エ）	公認心理師
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（オ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	3名
有資格職員の名称（カ）	管理栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
施設設備の概要（ア）居室数：	16
施設設備の概要（イ）設備等：	地域交流室
施設設備の概要（ウ）：	歯科診療室
施設設備の概要（エ）：	工作室、遊戯室

④理念・基本方針

<p>理念「自律・尊重・自立」</p> <p>ひとりひとりの成長に寄り添い、お互いを認め合って健全な社会生活を送れるような支援を目指します。</p> <p>基本方針「権利の尊重」子どもの権利と個性を尊重し、利用者にとって最善の利益となる選択肢を提示します。</p> <p>「総合環境療法の確立」施設・医療・家庭・学校・地域が連携して退所後の社会生活を想定した支援に努めます。</p> <p>「公正・平等な施設運営」第三者評価等を通じて外部の意見を積極的に取り入れ、公正・平等な施設運営に努めます。</p> <p>「職員の資質向上」職員は各種研修に参加して、知識と技術の向上に努めます。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>生活・心理・教育・医療が連携し、子どもひとりひとりが社会の中で生きていく力を身につけられるように、個性や特性に合わせて必要な支援を提供するように努めています。また、児童福祉施設口腔ケアに力を入れています。</p>

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2019/7/12	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2020/3/24	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成28年度	

⑦総評

<p>◇特に優れている点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心な職員が児童心理治療施設として実践力を確立していくべく努力されています。 ・健康管理の面において、医療機関との緊密な連携がとれています。 ・子どもたちの問題行動があった場合のアフターフォローが迅速に行われ、心理的に引きずらないよう支援されています。 ・ケースカンファレンス実施率100%を掲げて、目標の達成に尽力されています。 ・職員の教育やキャリアパスの確立に注力されています。 ・入所に至るまでの過程を重視し、丁寧に対応されています。 <p>◇改善が求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生活能力を向上させるためにも、地域の社会資源をさらに積極的に活用してほしい。 ・経験年数1年未満の職員の割合が高いため、法人全体での人事管理等でバランスよく配置していただきたい。 ・制限に頼りすぎないルールづくりが求められます。
--

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受審し、的確な評価を頂き、大変勉強になりました。ご指摘頂いた、生活空間における照明や間取りにつきましては、構造上改善が難しいところもありますが、出来る限り快適な生活空間になるよう配慮していきたいと思っております。また、質の向上に向けての取り組みは不十分と認識しておりますが、昨今、優れた人材確保を福祉業界で担っていくことは難しく、質の向上ばかり追い求めることで、職員がバーンアウトすることを防ぐ必要も感じます。子どもたちにしっかり向き合い、共に成長する中で、質の向上が図られていくことを望みたいと思っております。今後、まずは職員が一丸となって、事業計画を作り上げられることを目指し、一層努力していきたいと思っております。

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（児童心理治療施設）

共通評価基準（45項目） I 治療・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する治療・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>一昨年度に施設独自の理念が策定されています。パンフレットには理念のみ掲載されています。理念及び基本方針は、子どもや保護者へは掲示を、職員へは研修を通して周知が図られています。</p>	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども数・子ども像等、治療・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に治療・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】</p>	

施設をとりまく環境および入所児童の特性を踏まえて、定員を減らすとともに、小規模加算を獲得して、子どもたちの居住環境の改善と、経営の安定化の両方を達成しています。

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や治療・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所に向けて施設の特徴をプレゼンして、施設の利用が有効と思われる子どもの受入れに向けてPRされています。施設主催で実施する講演会でも施設の存在をアピールされています。医療ではなく福祉施設であるという特性について、関係機関のさらなる理解を得られるよう、こうした取組みの強化が望まれます。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

中期(3年)・長期(6年)に亘る目標を定め、問題解決に取り組まれています。その裏付けとなる中・長期収支計画は作成されていません。次回の中・長期計画の策定にあたっては、収支計画を盛り込むとともに、具体化された事業計画の策定が求められます。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【判断した理由・特記事項等】

単年度の事業計画は法人単位で策定されており、施設としての事業計画は単年度目標、重点項目、予算のみ記載されています。内容は、中・長期計画をふまえたものになっています。

(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	

	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画は、施設長や主任等の幹部職員で素案を作成し、職員会議を経て役員会へ上程されています。職員へは、改めて職員会議の場において周知されていますが、策定の段階から少なくとも中堅職員以上の参画が望まれます。		
	② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	c
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
子どもや保護者への周知について、わかりやすく説明するような工夫が求められます。		

4 治療・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく治療・支援の質の向上に関する取組を実施している。	
<input type="checkbox"/> 治療・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的を受審している。	
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	
【判断した理由・特記事項等】	
年に一回以上の自己評価及び三年に一回の第三者評価は、着実に実施されていますが、結果の活用が十分なされていません。個々のケースにおけるPDCAの取組みは組織的に行われています。	
② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】	
自己評価や第三者評価の結果を踏まえた課題の改善の取り組みは特に見られないものの、施設の課題は中長期的な視野に立って、計画的に改善されています。	

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a

<input type="checkbox"/>	施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
<input type="checkbox"/>	平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	

【判断した理由・特記事項等】

ホームページにあいさつ文を掲載されています。役割と責任について明文化されています。会議、研修にも積極的に出席されています。施設長不在時の権限委譲は主任となっています。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

全国組織で行われる施設長会において、法律改定の動きは確認されており、職員へのフィードバックもされています。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 治療・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/>	施設長は、治療・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、治療・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、治療・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、治療・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、治療・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

全てのケースにおいて、入所前のケース会議には必ず出席し、家族歴を把握されています。施設のケースカンファレンスにも参加され、必要なスーパーバイズをされています。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【判断した理由・特記事項等】

経営課題については法人本部と共有されています。経営改善については職員へも危機感を持ってもらえるよう、指導を強化されています。職員の定着率の向上に向けて、退職の要因を分析し、対応することが求められます。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	<p>14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 治療・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(5種別共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>必要な人員体制の整備は法人で行われています。必要となる専門職は配置されていますが、家庭支援専門相談員と基幹的職員の兼務の解消が望まれます。</p>		
②	<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>職員が自らの将来を描くことができるようなキャリアパスの仕組みが整備されており、一定の基準に基づいた人事評価が実施されています。</p>		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	<p>16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>労務管理に関するシステムを導入するとともに、法人として社会保険労務士による労務管理が実施されています。小規模化の影響もあり、配置基準を超える職員配置が望まれます。</p>		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	<p>17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	a

<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのことで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

期待する職員像を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のためのフェースシートが整備され、計画的に研修の受講等がなされるよう配慮されています。

<p>② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p> <input type="checkbox"/> 施設が目指す治療・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	a
<input type="checkbox"/> 現在実施している治療・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

新任職員に向けてはプリセプター制度を導入し、個人の特性に合わせた教育が実施されています。全国組織のキャリアパス準拠研修についても、個別受講履歴表で管理されています。

<p>③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。</p> <input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	a
<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
<p>(5種別共通)</p> <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

職員一人ひとりが、フェースシートに基づいて教育・研修の場に参加できるよう配慮されています。プリセプター制度をはじめとして、OJTが適切に実施されており、スーパービジョン体制も確立されています。資格取得に向けての支援の充実が期待されます。

(4) 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

<p>① 20 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p> <input type="checkbox"/> 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	b
<input type="checkbox"/> 実習生等の治療・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

保育士に関する実習生受入マニュアルはあるが、新たに受け入れた心理士の実習についてはマニュアルが整備されていませんので、受入体制の強化が求められます。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	<p>21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、治療・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】		
必要とされる情報公開はホームページやパンフレット等で適切に実施されていますが、広報紙等の発行は現状されていません。苦情対応について、該当事例が発生した際にはホームページへの掲載が望まれます。		
②	<p>22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】		
充実した内部監査を実施し、会計士の活用を含め公正且つ透明性の高い経営運営のための取組が行われています。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	<p>23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】		
クリスマス会等の行事に地域の方を招待するなど積極的に取り組まれているうえに、小学校区にある「わくわく農園」での農作業に子どもたちが参加しています。		
②	<p>24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。</p>	b

	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

受入手順書は策定されていますが、現在定期的なボランティアの受入事例はありません。施設の特性上を考慮して難しい面もありますが、積極的な受入を期待します。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所、教育委員会、警察や消防署等、必要な社会資源との連携が図られています。医療機関は法人グループ内にあり、児童精神科は週1回利用できる体制となっています。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

要保護児童対策協議会や社会的養育推進計画策定会議に施設長が参加されており、児童福祉に関する福祉ニーズの把握は一定されています。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する治療・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

講演会の開催や通所対応(現状利用なし)をされています。地域のニーズに応じて、施設の特性をハード・ソフトの両面で活かされるよう期待します。

Ⅲ 適切な治療・支援の実施

1 子ども本位の治療・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
	① 28 子どもを尊重した治療・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した治療・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	

<input type="checkbox"/>	子どもを尊重した治療・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/>	子どもを尊重した治療・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の治療・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
<input type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【判断した理由・特記事項等】

施設独自の権利ノートの策定し、入所時に説明されています。女子ユニットへの男性職員の単独立入禁止等、職員共通の理解を進め、実践されています。子どもの権利擁護のためのオレンジ委員会を立ち上げ、活動を始めています。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われている。	b
<input type="checkbox"/>	子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	
<input type="checkbox"/>	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した治療・支援が実施されている。	
<input type="checkbox"/>	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/>	子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【判断した理由・特記事項等】

権利ノートにプライバシー保護についての記載があります。保護者からの手紙は予め保護者から同意を得て、施設で職員が閲覧して対応しています。3人部屋の居住環境については、改善の余地があります。

(2) 治療・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して治療・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
<input type="checkbox"/>	理念や基本方針、治療・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	
<input type="checkbox"/>	施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	
<input type="checkbox"/>	施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	
<input type="checkbox"/>	見学等の希望に対応している。	
<input type="checkbox"/>	子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	

【判断した理由・特記事項等】

入所時のしおりや権利ノートを活用されていますが、しおりについては文字が多いので適宜イラストの挿入等が望まれます。子どもや保護者の施設見学も受け入れられています。

②	31 治療・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
<input type="checkbox"/>	子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う治療・支援について納得し主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	
<input type="checkbox"/>	治療・支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	
<input type="checkbox"/>	治療・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
<input type="checkbox"/>	意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

入所のしおりで説明し、同意書をとられる際には、子どもや保護者の自己決定を尊重されています。

③	32 治療・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり治療・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
---	--	---

<input type="checkbox"/> 治療・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	
<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、治療・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【判断した理由・特記事項等】

児童養護施設や児童自立支援施設への措置変更にあたっては、必要に応じて関係者会議を開く等、継続性への配慮は一定なされています。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	
<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

月1回児童ミーティングを実施し、各ユニット内での生活ルールの設定等を議論されています。食事の嗜好調査や欲しい書籍、長期休暇の過ごし方の聴取等をされています。実現できるものはしています。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<input type="checkbox"/> 治療・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	
<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	
<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、治療・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

第三者委員も含めて苦情受付の体制は整備されています。第三者委員がいずれも遠隔地在住の方であり、地元の委員の確保が望まれます。

② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	

【判断した理由・特記事項等】

相談室が複数確保されています。分校の先生を含めて、どの職員に意見を言っても良いことは子どもたちに伝えられています。匿名アンケートや意見箱等、さらなる取組みが期待されます。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の治療・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、治療・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

普段子どもと接する場面が少ない施設長による面談の場を設定し、職員への意見を聴取されています。システムによって職員間で相談や意見の内容は共有され、組織的な対応をするようになっています。

(5) 安心・安全な治療・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

ヒヤリハットの記録は整備されています。サーベイランスの取り組みも活用されています。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。		

【判断した理由・特記事項等】

感染症対策委員会を設置し、感染症対応マニュアル、吐瀉物対応キットも完備されています。子どもと職員はインフルエンザの予防接種を受けるようにされています。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
---	-------------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	
<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても治療・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
【判断した理由・特記事項等】	
月1回の避難訓練が実施され、緊急連絡網や備蓄リストも完備されています。非常持出袋はあるものの、子ども一人ひとりのものとはなっていません。全員分のヘルメットや防災頭巾等の必要な防災備品の整備に加えて、BCPの策定が望まれます。	

2 治療・支援の質の確保

(1) 治療・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
① 40 治療・支援について標準的な実施方法が文書化され治療・支援が実施されている。	a
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
【判断した理由・特記事項等】	
日課は各ユニットに掲示されており、細かいルール設定も行われています。調理実習、静養室の利用等、場面に応じた手順書は各種整備されています。	
② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<input type="checkbox"/> 治療・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
<input type="checkbox"/> 治療・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
【判断した理由・特記事項等】	
入所児童の特性に応じて随時見直しをされています。定期的な見直しの機会が求められます。	
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	
① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	
<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な治療・支援の内容等が明示されている。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な治療・支援が行われている。	
【判断した理由・特記事項等】	

多方面からのアセスメントの下で自立支援計画の策定が適切になされていますが、アセスメントについて決められた様式等はありません。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに治療・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、治療・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、治療・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【判断した理由・特記事項等】

ケースカンファレンスで自立支援計画の評価・見直しを専用のシステムを活用して年2回実施されています。

(3) 治療・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する治療・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく治療・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【判断した理由・特記事項等】

専用のシステムを活用し、情報の共有が図られています。セキュリティ対策の観点で、外部からのアクセスはできなくなっています。これと併せて、1日3回の申し送りの際は、職員相互で情報共有を図っています。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	

【判断した理由・特記事項等】

法人により策定された個人情報保護規程や就業規則に基づいた運用がなされています。記録のとり方について、職員への教育を充実されるよう期待します。

A-1 子どもの最善の利益に向けた治療・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果
<p>① A1 一人ひとりの子どもの最善の利益を目指した治療・支援が、総合環境療法を踏まえた多職種連携の取り組みで実践されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画に、子どもの課題の解決に向けて福祉、心理、医療、教育の連携による総合的治療・支援方針が策定され、支援が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員が日々の治療・支援について振り返り、子どもの最善の利益の観点から、必要に応じて助言を受けられる環境や相互研鑽ができる体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 個々の子どもに心理治療担当を配置し、必要に応じて個別心理療法および集団によるコミュニケーション活動及び表現活動を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 精神科的医療ケアの必要な子どもに対して必要に応じて、児童精神科医等の診療を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤なケースについては、入院治療が必要になる場合に備え、外部の医療機関と連携し、必要に応じて話し合い等を行っている。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】 子どもたちが地域社会へ戻ったときに、うまく適応して社会生活を営めるよう、プレイセラピーの活用等を通して支援されています。児童相談所や医療機関と連携し、入院や服薬調整が必要なケースへの対応を図っています。</p>	
<p>② A2 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、生活体験を通して発達段階や課題を考慮した支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもから相談を受けたり生活場面でのことについて、個別に話し合ったりする機会や一緒に活動する時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設生活において多種多様な生活体験(創作活動など)を通して、ものごとを広い視野で具体的、総合的にとらえる力や、豊かな情操が育まれるような活動が組み込まれている。</p> <p><input type="checkbox"/> 個々の子どもの発達段階や課題に応じて、日課は出来るだけ柔軟に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> つまづきや失敗の体験を大切に、行動上の問題等があった場合も背景にある心理的課題の把握に努め、自己を向上発展させるための態度が身に付けられるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 問題の解決に当たって、謙虚に他から学び、他と協力していける力量や態度を形成できるようグループ活動などを取り入れ支援している。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】 集団活動を通して生活能力の向上に向けた支援をされています。様々なルールによって職員の一貫的な対応や子ども同士のトラブルの回避に努められていますが、専門性をさらに向上させることにより、つまづきや失敗を成長の糧にしていけるような支援を期待します。</p>	
<p>③ A3 子どもの発達段階に応じて、さまざまな生活技術が身に付くよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 大人と一緒に買物をする体験、一人で買物をする体験などを通して、経済観念や店員とのやり取りなど地域生活に必要なスキルが身につくよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 小遣いの用途については、子どもの自主性を尊重し、不必要な制限を加えず、計画的な使用等金銭の自己管理ができるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域での生活を見据えて、発達段階に応じて一人での受診や、市役所、図書館、郵便局などの公共機関、交通機関を利用するなど、さまざまな生活技術を学ぶプログラムを実施している。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】 インターネットに触れる機会については、基本的に制限されています。買い物の仕方を学ぶ機会が修学旅行等の行事しかなく、社会生活を営む上で必要な金銭感覚を養えるような支援を期待します。</p>	
<p>④ A4 子どもに暴力・不適応行動などの行動上の問題があった場合には、適切に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 行動上の問題がある子どもについては、訴えたいことを受け止めるとともに、問題となる行動を観察・記録し、誘引や刺激等の要因、人的・物的環境との因果関係を分析し治療・支援を行うとともに、自分の意思を伝えるための適切な方法を学ぶ機会を設けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 行動上の問題のある子どもについて、その特性等をあらかじめ職員間で情報の共有化をはかり連携して対応できるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもに心身を傷つけずに対応するとともに、周囲の子どもの安全を図っている。</p>	a

	<input type="checkbox"/> 自傷他害の危険性が極めて高いと判断されるなど、子どもの安全確保等のために他に取るべき方法がなく、子どもの最善の利益になる場合に限り、マニュアルに基づいて行動等の制限が最小限の範囲で行われ、その記録が残されている。	
	<input type="checkbox"/> 行動等を制限するケアについて、具体的な例を示して職員に周知するとともに、子どもに知らせ、子どもが納得できない場合、苦情解決制度やその他の方法を用いて改善を求めたり意見を述べることを知らせている。	

【判断した理由・特記事項等】

危機管理マニュアルに従い対応されています。問題行動があった際には、基本的に静養室でクールダウンする時間を設ける対応が標準となっています。

(2) 子どもの意向への配慮や主体性の育成

①	A5 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちのこととして主体的に考えるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分および自分たちの生活がより良くなるように考える機会(個人面談、子ども会など)をさまざまに用意している。	
	<input type="checkbox"/> 活動、行事等の参画について、子ども一人ひとりの選択を尊重し、自発的な参加となるように支援し、日常生活を含め行事等のプログラムに追われることなく、ゆとりある生活が過ごせるよう配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動(施設内の子ども会、ミーティング等)を実施し、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう、職員は必要な支援をしている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが主体的に小集団活動、行事の企画・運営に関わることができる。	
	<input type="checkbox"/> 活動で決定した要望等について、施設や職員は可能な限り応えている。	

【判断した理由・特記事項等】

月1回の児童ミーティングは、子どもに議事録や司会を任せることもあって、多くの意見を聞けるようにされています。また、悠祭は、自分たちが作ったものでおもてなしをする性格の行事であり、達成感や満足感を得られるようになっています。ルールの変更に際しては、子どもたちの納得が得られるような支援が望まれます。

②	A6 子どもの協調性を養い、他者と心地よく過ごすためのマナーや心遣いができるように支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設のルール、約束ごとについては、話し合いの場が設定されており、必要に応じて変更している。	
	<input type="checkbox"/> 社会生活の規範等守るべき約束ごとを理解できるよう子どもに説明し、それらを尊重した行動をとるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 外出や買い物など社会的ルールを習得する機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 普段から、職員が振る舞いや態度で模範を示している。	

【判断した理由・特記事項等】

係や当番の仕事を行うことを通して、他者との共存について学ぶ視点で支援されています。困難なこととは思われますが、外も含めて社会適応力を養う機会を増やしていくことが期待されます。

(3) 子どもの権利擁護・支援

①	A7 子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、施設としての基本的な考え方や方針が明示され、それに基づく規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもに権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた治療・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもとの関わりが得られない親の対応に、適切な親権の行使として未成年後見制度などの活用を視野に入れた支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に学習や検討する機会を定期的に設けている。	
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの保護のために、児童虐待防止法12条の「面会等の制限等」を適切に行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもの権利条約の内容を含め、施設独自の権利ノートを作成されています。未成年後見や面会制限は必要に応じて対応されています。信教の自由も保障されています。

②	<p>A8 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に子どもの状態に応じて権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料を使用して日常生活の中で起こる出来事を通して、守られる権利について子どもたちに説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>日々の生活や行事等で、子どもが助け合い、認め合い、協力し合い、感謝し合う態度を促進するよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などの問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方についても点検を行うとともに、起こった場合の早期対応について子どもや職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設だけでは暴力やいじめに対する対応が困難と判断した場合には、児童相談所の協力を得ながら対応している。</p>	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

施設独自の権利ノートを作成されており、子どもにわかりやすく伝えられています。職員の理解を促すため、本年度から始まった「子どもの権利について考える委員会」の活動も含めて、今後に期待します。

(4) 被措置児童虐待の防止等

①	<p>A9 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりについて、具体的な例を示し、職員に徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/>会議等で取り上げる等により不適切なかかわりが行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりの防止について、具体的な例を示して、子どもに周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。</p>	b
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

建物の中央に事務所があり、何かあればすぐ対応できるつくりになっています。子どもたちの活動は職員が目必ず届くところで行われています。抑止効果をねらって、防犯カメラの活用もされています。不適切な事案があれば、施設長面談により子どもから直接聞き取ることもできます。

A-2 生活・健康・学習支援

(1) 食生活

①	<p>A10 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが日々の食生活に必要な知識及び判断力を習得し、基本的な食習慣を身につけることができるよう食育を推進し、皆と一緒の食卓で楽しく食べられることを目指して一人で食べることから始めるなど、プロセスを踏むことが保障されている。</p> <p><input type="checkbox"/>温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や子どもの体調、疾病、アレルギー等に配慮した食事を提供している。</p> <p><input type="checkbox"/>食に関する課題のある子どもへの具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>陶器の食器等を使用したり盛りつけやテーブルの飾りつけの工夫など、食事をおいしく食べられるように工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/>定例的に子どもの嗜好や栄養摂取量を把握し、献立に反映させ、好き嫌いをなくす工夫や偏食支援については、無理が無いよう配慮し実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達段階や課題に応じて食事の準備、配膳、食後の後片付けなどの習慣や簡単な調理など基礎的な調理技術を習得できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>郷土料理、季節の料理、伝統行事の料理などに触れる機会を持ち、食文化を継承できるようにしたり、外食の機会を設け、施設外での食事を体験させている。</p>	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

食堂の壁紙やカーテン等を明るくして、雰囲気づくりを心がけています。食事終了までは会話を制限し、職員が見守る中で食事に集中できるようにされています。偏食の是正やマナー等、社会性を身につける支援をされています。アレルギーへの対応も必要に応じてなされています。外食の機会を設ける等、食の体験を広げるような取組みを期待します。

(2) 衣生活

①	<p>A11 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、整理整頓、洗濯やアイロンがけ、衣類の補修等、子ども自身できるように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 発達段階や好みに合わせて子ども自身が衣服を選び、購入できる機会を設け、個々の収納スペースを確保するなど、「自分の服である」という所有感を持てるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 毎日取り替える下着や、汚れた時などに着替えることができる衣類が十分に確保され、常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものが着用されるよう提供している。</p> <p><input type="checkbox"/> 発達段階や課題に応じて、TPOに合わせた服装や自己表現ができるよう配慮している。</p>	b
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

自己表現以前の問題として、清潔にするという概念のない子どもがいることから、衣類の整理、洗濯等基本的なところから支援されています。衣類の購入は基本的に保護者対応であり、選択するという段階にまで至らない場合もあります。

(3) 住生活

①	<p>A12 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 居室は、自分の空間であることを認識する場であるとともに、発達段階や課題に合わせた安心できる空間となっており、リビングスペース等くつろげる空間を確保するように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあった、空間や家具、生活機材が用意されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じて、冷暖房設備を整備している。</p> <p><input type="checkbox"/> 居室の清掃や補修など、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 防犯のためのオートロックや防犯カメラなどを設置している。</p>	b
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

共用スペースは快適な環境が確保されています。相部屋の居室については、以前より改善されてはいますが、レイアウト上、日光が入らない居室スペースも存在しており、パーテーションの設置についてプライバシー、防災の両面から見直しが求められます。

②	<p>A13 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 居室の整理・整頓、掃除の習慣や洗濯、ふとん干し、各居室のごみ処理などの生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 戸締り、施錠の習慣や、電灯、エアコンなどの操作を身につけられるように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の部屋や共有空間についての様々な工夫について子どもの意見を取り入れている。</p> <p><input type="checkbox"/> 掃除機や洗濯機、ドライヤーや電気髭剃り等の生活に関わる機器の使用に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 建物・設備の軽度な破損について、簡単な修理を体験できるように配慮している。</p>	b
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

掃除は自分たちでほうきを用いてすることとされています。布団が干せる環境ではなくなったことで、布団乾燥機の導入が望まれます。

(4) 健康と安全

①	<p>A14 発達段階に応じて、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの発達段階や課題に応じて、常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠、食事摂取、排泄等の状況を職員が適切に把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 洗面、歯磨き、入浴時に体や髪を洗うことなど清潔を保つための支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが自分の体調について注意を払うように支援し、体調について相談しやすいように努めている。</p>	a
---	--	---

	<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階や課題に応じて、危険物の取扱いや危険な物・場所・行為から身を守るための支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもの交通事故防止など、様々な危険から身を守るため、交通ルールや外出時の注意点、緊急時の対応の仕方等について日頃から子どもに教え、準備をしている。	
【判断した理由・特記事項等】 爪切り等の整容は毎週実施されています。夜尿について職員は適切に把握し、他児からのからかいを防ぐよう配慮されています。入浴時間が極端に短い子どもには声掛けをして、全身を洗うよう指導されています。		
②	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握している。 <input type="checkbox"/> 地域の医療機関との連携により、必要な受診に即応できる体制がある。 <input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもや服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。 <input type="checkbox"/> 薬物の管理及び服薬の手順を施設として定めている。 <input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。 <input type="checkbox"/> 様々なアレルギーへの対応や、救命救急対策などについて組織的に行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 法人系列のクリニックが隣接しており、医師の巡回もされています。通院記録はシステム上に保存されており、職員はいつでも閲覧できます。施設内に歯科治療室を設置し、家庭では歯科治療を受けられなかった子どもたちの口腔ケアにも力を入れています。		
(5) 性に関する支援等		
①	A16 子どもの年齢・発達段階等に応じて、性をめぐる課題に関する支援等の機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 発達段階や課題に応じて性に関する支援の基本的な考え方、方針を定めている。 <input type="checkbox"/> 性被害、性加害など性に課題のある子どもに対する支援を自立支援計画をもとに行っている。 <input type="checkbox"/> 年齢、個々の状況、発達段階に応じて、性をめぐる諸課題について支援している。 <input type="checkbox"/> 性をめぐる不適切行動を予防する取組をしている。	c
【判断した理由・特記事項等】 性教育を手掛けていた職員が退職したこともあり、施設として定期的な実施ができておらず、準備段階に留まっているのが現状です。距離感のとり方等、必要に応じた指導はされています。		
(6) 学習支援、進路支援等		
①	A17 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援に取り組み、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。 <input type="checkbox"/> 常に子ども個々の学習に対する構え、学力を把握し、それらに応じた個別的な学習支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設の子どもたちの分級や分校などの学校教育が用意され、日々の子どもの状況の変化等に関する情報が、学校・施設間で確実に伝達できるシステムが確保され、個々の子どもに対する生活支援、学習支援及び進路支援等を相互に協力して実施している。 <input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるように個別スペースや学習室を用意したり、学習支援のため、ボランティアの協力を得るなどの配慮をしている。 <input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、保護者等、学校、児童相談所の意見を十分聞くなど連携している。 <input type="checkbox"/> 学校で生じた子どもの行動上の問題に対しては、学校に協力して対応し、ケースカンファレンスには原則として施設と学校の担当者が参加して検討している。 <input type="checkbox"/> 退所後に通学する学校との連携が適切にとられている。	a
【判断した理由・特記事項等】 必要な情報は事務所に備え付け、分校との連携の下で自己決定の支援をされています。学習は基本的に自室で行うこととされています。		

A-3 通所支援

(1) 通所による支援	
①	<p>A18 施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 様々な通所プログラムを策定し、子どもの自立支援を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 在宅の子どもの生活実態を的確にとらえ、それに基づき適切な支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 在宅の子どもや家族の支援として通所支援を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じて訪問による支援を実施している。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
通所部門は開設しているものの、本年度利用者は存在しません。	

A-4 支援の継続性とアフターケア

(1) 親子関係の再構築支援等	
①	<p>A19 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立し、家族関係の再構築に向けて支援している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設の基本方針等に、家族への支援や家族療法等に関する基本的な考えや姿勢が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 個々の子どもに家族担当を設け、日常的な連絡や気軽な相談の窓口として活用できるよう案内し、子どもの日常生活の様子や学校、地域、施設等の予定や情報を定期的に家族に伝えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を独立した専門職として配置し、その役割を明示している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもと家族の関係の再構築、家族再統合が可能となるように、児童相談所と協力して親子関係の修復や保護者等の養育力の向上のためのプログラムを継続的に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもと家族との交流について、子どもの意思を尊重し、面会、外出、一時帰宅については、児童相談所等と協議し、個別性に配慮しながら、一定のルールや基準を定めて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 親子が必要な期間一緒に過ごせるような設備を施設内に設けて、家族支援の趣旨に沿った活用がなされている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
標準化された家族支援プログラムはなく、各家庭のニーズに応じて作成されています。保護者との外出、外泊など段階を追って徐々に家庭へ復帰できるよう支援されています。	
②	<p>A20 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 通所機能や外来機能を利用して、退所後の支援を継続して行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 退所後何年経っても施設に相談できることを伝えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の関係機関と連携し、退所後の生活の支援体制の構築に努めている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
退所前に関係者会議を開き、退所後のフォローについて役割分担をされています。他県ケースの場合は、3か月後を目途として電話確認をされているほか、必要に応じて心理ケアを受ける場合があります。	